

今年も半分が過ぎましたね！ 早いものです。今月は新しい本からご紹介します。

『この羽だれの羽？』

おおたぐろ まり／著 偕成社 2013年 1680円

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年★☆☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

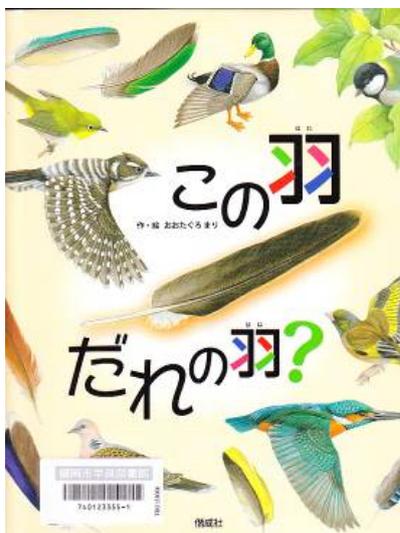
道で鳥の羽をひろったら、この本を開いてみてください。たった1枚の羽からも羽の大きさ、色、形などからその羽の持ち主を知ることができるのです。

この本には、それぞれの鳥の羽の役割、特徴、その羽を持つ鳥のことなどがきれいな絵で紹介してあります。ただ読んでも楽しめますし、羽を手元に置いて持ち主を推理するのも楽しいでしょう。また、この本を読んだ後に鳥の羽をさがしに行くのもいいかもしれません。

<子どもに手渡すときのポイント>

科学的なこともさることながら、美しい絵や愛情深い文章も楽しめる本です。ただ、紹介してある鳥の数が図鑑などに比べて少ないので、詳しく調べたい子どもには図鑑と合わせて紹介するとよいでしょう。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。



総合図書館 重村 さやか